

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		環境技術開発センター運営事業		課名	工業課	事業No.	221
				会計	一般会計		
主要区分		主	記号	事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	戦略計画						
	分野別計画	地域経済活性化プログラム					
	法令・例規等						
	事業目的	対象	起業、研究開発に取り組む者				
	意図	起業や研究開発を支えるための事業化に向けたサポート及び施設の管理運営					

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	インキュベートマネージャーを配置し、センターの管理及び運営を行うとともに、産業センターのコーディネーターも加わり、入居企業の研究開発から事業化、企業が抱えている課題に対する相談まで総合的な支援を行いました。入居状況は、年度当初は4社（マルヒ、三和ロボティクス、キャストネット、ソトウェア）が入居、年度途中で4社が退室し、新たに1社（電磁環境研究所）が入居中。空き室に対して地域内外からの施設利用を促進するために、情報発信や誘致活動を実施しました。例年実施している研究成果発表会については、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。	環境技術開発センター運営事業費	5,003
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	新規創業者数	社	1	0	1	0	1	1		
	入居企業数	社	4	4	4	4	5	5		
	開発件数	件	4	3	4	4	5	5		

1年度決算(千円)	予算額	5,739	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,003	(そ) 環境技術開発センター入居企業共益負担金 746千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 桐林環境産業公園駐車場使用料 1,411千円							
		県支出金	0	(そ) 一本平産業団地駐車場使用料 118千円							
		地方債	0								
その他		2,275									
	一般財源	2,728									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	13	2	5,739	5,003	環境技術開発センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・ ほぼ同時期に4社が退室してしまい、現在5つが空き室となっており、入居企業の確保が必要です。設立して年月が経っているため、施設内において様々な不具合が生じており、ランニングコストの増加が懸念されます。それらを踏まえ本施設の将来に向けての方向性が求められています。
上記の課題解決のための有効策	・ 本施設とエスパード内のインキュベート室とあわせて地域内外へPRを図りながら、様々な企業の用途やニーズに応えられるようにスピーディーかつ柔軟な対応により入居の促進を図ります。
次年度に向けての取り組み	・ 企業誘致活動と連動し、インキュベート室への入居の促進を図ります。また、マスコミ等を活用して地域内外へ積極的にPRします。公共施設マネジメントにより、本施設のあり方について方向性を協議していきます。